

Q1.地域計画の達成状況や重点的に取り組む分野への意見

■福祉

- 高齢者が今後増加することから福祉の重要性は増加し続ける。
- KPIが達成できていないため、重点的に取り組むべき。
- かかりつけ医の存在は、高齢者にとって重要であると考える。
- 無料や低額で受けられる診療事業のサービスをよく知らず受けられていない人がいると思うので、既存事業についても区民への広報を強化する必要があるのでは。

■安全

- 電柱などに「〇〇震災時 震度〇」などの写真を貼り付け、普段の生活の中から自分事として防災を考える意識を育てる。
- わんわんパトロールのような「ながら活動」で地域と関わる。
- 災害時のために、日ごろからの地域でのつながりを持つ事が大切。



■歴史文化

- ソフィア・堺という資源をより区民が活用できるようにしてほしい。

■交流

- 自治会活動の内容がもっと未加入者にわかれば、必要性の判断ができるのでは。外からは中の人が思っている以上に実情がわからず、判断が難しい。
- 清掃活動などの役割を通じて責任感を各人が感じられるようになれば自治会への加入や横のつながりが強化されると思う。

Q2.計画改定で見直しすべき点

将来像実現をけん引する取組（仮称）深井駅周辺地域活性化プロジェクト

▶ 将来像実現の核となるよう、多様な取組を行う場として位置付ける。

- お祭りなどの地域交流イベントの開催
- 福祉センターのような場所で福祉サービスの展示・相談窓口の設置など利用ハードルを下げる取組
- 役所に行くほどではないちょっとした質問ができる、市民生活に密着した情報が得られる場所を設置
- この施設から4R意識が高められるように、ゴミ箱や分別ルールの掲示などを丁寧に設置
- 分かりやすい消費カロリーの目安（ごはん●杯分など）のある複数のウォーキングルートを設置
- スカッシュやパデルコートの利用促進のため、用具レンタルサービスやサークル活動の支援など

福祉のKPIについて、7つの分野別要素でこの分野のみ当初より、数値が減少している。

次期計画策定にあたり、指標の妥当性について検討が必要ではないか。